



電気融雪器 絶縁監視システム



■ 特長

- 電気融雪器はレールに取り付けられ、そのレールには鉄道運行に重要な軌道回路を構成する信号電流が流れているため、信号電流に影響を与えない低周波の交流信号を電気融雪器の電源回路に重畳させることにより、電気融雪器本体の電源有無に関わらず絶縁抵抗の監視を行うことで予知保全が可能となります。
- 設備全体の絶縁抵抗値が設定値を下回った場合は自動で各ポイント(分岐回線)の計測を行い、絶縁が低下したポイントの特定を行います。
- Ethernet・移動通信システムを利用することでタブレット・PCなどによりWebブラウザ上で運転状態及び故障、絶縁抵抗値、床板温度等を確認することが可能です。

※閉域網等のネットワーク設備が別途必要になります。



Webパンフレット

実用新案登録済み

■ 外形寸法図と内部配置図

